

令和5年度 導入の必要性和成果目標、補助対象機械装置一覧（ピンク色のセルは、令和4年度要望調査から変更のあった個所です）

飼養 区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値）					○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧（令和5年1月19日現在：未定稿）」を参照してください																		
			算定根拠	現状値・目標値の ①の値の単位	現状値・目標値の ②の値の単位	現状値・目標値 の③の値の単位	現状値 目標値 の単位	1 飼料給与 関係機械 装置	2 畜舎温度 制御機械 装置	3 省エネ・電 力安定供 給のための 機械装置	4 家畜飼養 管理機械 装置	5 搾乳関係 機械装置	6 衛生管理 高度化機 械装置	7 畜産物管 理・加工機 械装置	8 飼料播種・ 追挿用機 械装 置	9 飼料収穫・ 調製用機 械装 置	10 その他飼料 生産関係 機械装置	11 スマート農 業関連機 械装置	12 草地等管 理用機械 装置	13 飼料調製 用機械装 置	14 飼料用米 調製用機 械装置	15 放牧関連 機械装置	16 飼料保管 装置	17 エコフィード 調製・給与 関係装置	18 堆肥調製 散布関係 機械装置	19 その他 （知事特 認関係）
肉 用 牛 （ 肥 育 ）	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 事故率の低減による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 堆肥販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売量（堆肥） 農業所得・営業利益	t/年（年間販売量） 円（農業所得・営業利益）	円/t（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円																	○	○	
	6 6次化による加工品の販売量・販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品） 農業所得・営業利益	円/年（年間販売額） 円（農業所得・営業利益）		円	円						○												○	
	7 預託頭数の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	預託頭数 農業所得・営業利益	頭/年（年間預託頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（預託料） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 肉質向上による販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○									○	○					○	○
	9 飼養期間短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○										○	○				○	○
	10 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○																		○
	11 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○		○																○
	12 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円			○																○
	13 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円																		○	○
	14 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円			○								○							○	○
	15 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円			○																○
	16 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）			円				○															○
	17 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）		円							○	○	○	○	○	○	○	○	○				○
	18 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
	19 放牧頭数・面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円			○							○					○				○
	20 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円			○							○							○		○
	21 稲わら（飼料用）の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円									○									○	○
	22 新規就農	※1							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
肉 用 牛 （ 一 貫 ）	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 事故率の低減による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 堆肥販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売量（堆肥） 農業所得・営業利益	t/年（年間販売量） 円（農業所得・営業利益）	円/t（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円																	○	○	
	6 6次化による加工品の販売量・販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品） 農業所得・営業利益	円/年（年間販売額） 円（農業所得・営業利益）		円	円						○												○	
	7 預託頭数の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	預託頭数 農業所得・営業利益	頭/年（年間預託頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（預託料） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 肉質向上による販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 飼養期間短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○							○	○							○	○
	10 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○																		○
	11 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○		○																○
	12 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円			○																○
	13 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円																	○	○	
	14 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円			○							○								○	○
	15 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円			○																○
	16 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）			円				○															○
	17 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）		円							○	○	○	○	○	○	○	○	○				○
	18 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
	19 放牧頭数・面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円			○									○							○
	20 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円			○							○							○		○
	21 稲わら（飼料用）の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円									○									○	○
	22 新規就農	※1							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和5年度 導入の必要性和成果目標、補助対象機械装置一覧（ピンク色のセルは、令和4年度要望調査から変更のあった箇所です）

飼養 区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値）					○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧（令和5年1月19日現在：未定稿）」を参照してください																		
			算定根拠	現状値・目標値の ①の値の単位	現状値・目標値の ②の値の単位	現状値・目標値 の③の値の単位	現状値 目標値 の単位	1 飼料給与 関係機械 装置	2 畜舎温度 制御機械 装置	3 省エネ・電 力安定供 給のための 機械装置	4 家畜飼養 管理機械 装置	5 搾乳関係 機械装置	6 衛生管理 高度化機 械装置	7 畜産物管 理・加工機 械装置	8 飼料播種・ 追播用機 械装置	9 飼料収穫・ 調製用機 械装置	10 その他飼料 生産関係 機械装置	11 スマート農 業関連機 械装置	12 草地等管 理用機械 装置	13 飼料調製 用機械装 置	14 飼料用米 調製用機 械装置	15 放牧関連 機械装置	16 飼料保管 装置	17 エコフイード 調製・給与 関係装置	18 堆肥調製 散布関係 機械装置	19 その他 （知事特 認関係）
肉 用 牛 （ 繁 殖 ）	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（子牛） 農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価）		円	○	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（子牛） 農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価）		円	○	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（子牛） 農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価）		円		○					○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 事故率の低減による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（子牛） 農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価）		円		○					○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 堆肥販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売量（堆肥） 農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	円/t（販売単価）		円							○												
	6 6次化による加工品の販売量・販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品） 農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）			円						○													○
	7 預託頭数の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	預託頭数 農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	円/頭（預託料）		円	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 肉質向上による販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（子牛） 農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価）		円		○	○									○	○	○					○
	9 飼養期間短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（子牛） 農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価）		円		○											○	○					○
	10 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○																		○
	11 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○			○															○
	12 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円				○															○
	13 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円																			○
	14 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円																			○
	15 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円																			○
	16 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）			円					○														○
	17 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）		円								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19 放牧頭数・面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円													○						○
	20 エコフイードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円																	○		○
	21 稲わら（飼料用）の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円																			○
	22 新規就農	※1						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和5年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧（ピンク色のセルは、令和4年度要望調査から変更のあった個所です）

飼養 区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値）					○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧（令和5年1月19日現在：未定稿）」を参照してください																		
			算定根拠	現状値・目標値の ①の値の単位	現状値・目標値の ②の値の単位	現状値・目標値 の③の値の単位	現状値 目標値 の単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
								飼料給与 関係機械 装置	畜舎温度 制御機械 装置	省エネ・電 力安定供 給のための 機械装置	家畜飼養 管理機械 装置	搾乳関係 機械装置	衛生管理 高度化機 械装置	畜産物管 理・加工機 械装置	飼料播種・ 追播用機 械装置	飼料収穫・ 調製用機 械装置	その他飼料 生産関係 機械装置	スマート農 業関連機 械装置	草地等管 理用機械 装置	飼料調製 用機械装 置	飼料用米 調製用機 械装置	放牧関連 機械装置	飼料保管 装置	エコフイード 調製・給与 関係装置	堆肥調製 散布関係 機械装置	その他 （知事特 認関係）
養 豚	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉豚） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉豚） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉豚） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 事故率の低減による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉豚） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 堆肥販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売量（堆肥） 農業所得・営業利益	t/年（年間販売量） 円（農業所得・営業利益）	円/t（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円																	○	○	
	6 6次化による加工品の販売量・販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品） 農業所得・営業利益	円/年（年間販売額） 円（農業所得・営業利益）		円	円						○												○	
	7 預託頭数の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	預託頭数 農業所得・営業利益	頭/年（年間預託頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（預託料） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円		○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 母豚1頭当たりの出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉豚） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○			○			○					○	○	○	○	○	
	9 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	円	円	○																	○	
	10 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	円	円	○		○															○	
	11 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	円	円			○															○	
	12 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	円	円																	○	○	
	13 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）		円	円		○	○															○	
	14 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）		円	円			○															○	
	15 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）		円	円				○														○	
	16 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）	円	円							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	円	円	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18 放牧頭数・面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）		円	円												○						○	
	19 エコフイードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）		円				○										○				○		○
	20 新規就農	※1						○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和5年度 導入の必要性和成果目標、補助対象機械装置一覧（ピンク色のセルは、令和4年度要望調査から変更のあった個所です）

飼養 区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値）					○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧（令和5年1月19日現在：未定稿）」を参照してください																		
			算定根拠	現状値・目標値の ①の値の単位	現状値・目標値の ②の値の単位	現状値・目標値 の③の値の単位	現状値 目標値 の単位	1 飼料給与 関係機械 装置	2 畜舎温度 制御機械 装置	3 省エネ・電 力安定供 給のための 機械装置	4 家畜飼養 管理機械 装置	5 搾乳関係 機械装置	6 衛生管理 高度化機 械装置	7 畜産物管 理・加工機 械装置	8 飼料播種・ 追播用機 械装置	9 飼料収穫・ 調製用機 械装置	10 その他飼料 生産関係 機械装置	11 スマート農 業関連機 械装置	12 草地等管 理用機械 装置	13 飼料調製 用機械装 置	14 飼料用米 調製用機 械装置	15 放牧関連 機械装置	16 飼料保管 装置	17 エコフイード 調製・給与 関係装置	18 堆肥調製 散布関係 機械装置	19 その他 （知事特 認関係）
採 卵 鶏	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（卵） 農業所得・営業利益	kg/年（年間販売量） 円（農業所得・営業利益）	円/kg（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出		円	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（卵） 農業所得・営業利益	kg/年（年間販売量） 円（農業所得・営業利益）	円/kg（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出		円	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（卵） 農業所得・営業利益	kg/年（年間販売量） 円（農業所得・営業利益）	円/kg（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出		円	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 事故率の低減による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（卵） 農業所得・営業利益	kg/年（年間販売量） 円（農業所得・営業利益）	円/kg（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出		円	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 堆肥販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売量（堆肥） 農業所得・営業利益	t/年（年間販売量） 円（農業所得・営業利益）	円/t（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出		円							○											○	○
	6 6次化による加工品の販売量・販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品） 農業所得・営業利益	円/年（年間販売額） 円（農業所得・営業利益）			円						○													○
	7 採卵率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（卵） 農業所得・営業利益	kg/年（年間販売量） 円（農業所得・営業利益）	円/kg（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出		円	○	○	○	○			○												○
	8 死廃率の低下	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（卵） 農業所得・営業利益	kg/年（年間販売量） 円（農業所得・営業利益）	円/kg（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出		円		○	○	○															○
	9 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費） 人（従事者数）		円	円	○																		○
	10 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費） 人（従事者数）		円	円	○		○																○
	11 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費） 人（従事者数）		円	円			○																○
	12 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費） 人（従事者数）		円	円											○							○	○
	13 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費） 円/年（光熱・動力費）		円	円		○	○							○									○
	14 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費） 円/年（衛生費）		円	円			○																○
	15 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費） 円/年（購入粗飼料量）		円	円					○														○
	16 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量） 円/kg（単価）		円	円													○						○
	17 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費） 人（従事者数）		円	円													○						○
	18 エコフイードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費） 円/人/年（労働費）		円	円			○											○		○			○
	19 集卵作業の効率化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費） 人（従事者数）		円	円						○											○		○
	20 検卵・選卵作業の効率化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費） 人（従事者数）		円	円						○													○
	21 新規就農	※1							○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブ ロ イ ラー	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉鶏） 農業所得・営業利益	羽/年（出荷羽数） 円（農業所得・営業利益）	円/100羽（販売価格） ※参加申請時に根拠資料を提出		円	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉鶏） 農業所得・営業利益	羽/年（出荷羽数） 円（農業所得・営業利益）	円/100羽（販売価格） ※参加申請時に根拠資料を提出		円	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉鶏） 農業所得・営業利益	羽/年（出荷羽数） 円（農業所得・営業利益）	円/100羽（販売価格） ※参加申請時に根拠資料を提出		円	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 事故率の低減による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉鶏） 農業所得・営業利益	羽/年（出荷羽数） 円（農業所得・営業利益）	円/100羽（販売価格） ※参加申請時に根拠資料を提出		円	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 堆肥販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売量（堆肥） 農業所得・営業利益	t/年（年間販売量） 円（農業所得・営業利益）	円/t（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出		円																		○	○
	6 6次化による加工品の販売量・販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品） 農業所得・営業利益	円/年（年間販売額） 円（農業所得・営業利益）			円						○													○
	7 育成率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉鶏） 農業所得・営業利益	羽/年（出荷羽数） 円（農業所得・営業利益）	円/100羽（販売価格） ※参加申請時に根拠資料を提出		円	○	○	○	○			○												○
	8 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費） 人（従事者数）		円	円	○																		○
	9 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費） 人（従事者数）		円	円	○		○																○
	10 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費） 人（従事者数）		円	円			○																○
	11 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費） 人（従事者数）		円	円																		○	○
	12 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費） 円/年（光熱・動力費）		円	円		○	○							○									○
	13 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費） 円/年（衛生費）		円	円				○															○
	14 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費） 円/年（購入粗飼料量）		円	円					○														○
	15 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量） 円/kg（単価）		円	円													○						○
	16 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費） 人（従事者数）		円	円													○						○
	17 エコフイードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費） 円/人/年（労働費）		円	円			○											○		○			○
	18 新規就農	※1							○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和5年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧（ピンク色のセルは、令和4年度要望調査から変更のあった個所です）

飼養 区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値）					○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧（令和5年1月19日現在：未定稿）」を参照してください																		
			算定根拠	現状値・目標値の ①の値の単位	現状値・目標値の ②の値の単位	現状値・目標値 の③の値の単位	現状値 目標値 の単位	1 飼料給与 関係機械 装置	2 畜舎温度 制御機械 装置	3 省エネ・電 力安定供 給のための 機械装置	4 家畜飼養 管理機械 装置	5 搾乳関係 機械装置	6 衛生管理 高度化機 械装置	7 畜産物管 理・加工機 械装置	8 飼料播種・ 追播用機 械装置	9 飼料収穫・ 調製用機 械装置	10 その他飼料 生産関係 機械装置	11 スマート農 業関連機 械装置	12 草地等管 理用機械 装置	13 飼料調製 用機械装 置	14 飼料用米 調製用機 械装置	15 放牧関連 機械装置	16 飼料保管 装置	17 エコフィード 調製・給与 関係装置	18 堆肥調製・ 散布関係 機械装置	19 その他 （知事特 認関係）
そ の 他 家 畜 （ や ぎ 、 め ん 羊 、 馬 ）	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量（肉）の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉用） 農業所得・営業利益	頭/年（出荷頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価）※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 飼養頭羽数の増加による出荷数量（乳）の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（生乳） 農業所得・営業利益	kg/年（1頭あたり年間産乳量） 円（農業所得・営業利益）	頭（搾乳羊頭数） 円/kg（単価）※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量 農業所得・営業利益	頭/年 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価）※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 受胎率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量 農業所得・営業利益	頭/年 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価）※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 事故率の低減による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量 農業所得・営業利益	頭/年 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価）※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6 堆肥販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売量（堆肥） 農業所得・営業利益	t/年（年間販売量） 円（農業所得・営業利益）	円/t（販売単価）※参加申請時に根拠資料を提出	円	円																		○	○
	7 6次化による加工品の販売量・販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品） 農業所得・営業利益	円/年（年間販売額） 円（農業所得・営業利益）	円/年（年間販売額）※参加申請時に根拠資料を提出	円	円						○													○
	8 預託頭数の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	預託頭数 農業所得・営業利益	頭/年（年間預託頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（預託料）	円	円		○			○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 肉質向上による販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉用） 農業所得・営業利益	頭/年（出荷頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価）	円	円	○	○	○										○	○					○
	10 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	円	円	○		○																○
	11 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	円	円	○		○																○
	12 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	円	円			○																○
	13 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	円	円																		○	○
	14 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）		円	円		○	○								○								○
	15 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）		円	円			○																○
	16 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）		円	円				○															○
	17 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）	円	円							○	○		○	○	○	○	○	○				○
	18 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	円	円							○	○		○	○	○	○	○	○				○
	19 放牧頭数・面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）		円	円			○												○				○
	20 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）		円	円			○														○		○
	21 新規就農	※1					円	円	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
そ の 他 家 畜 （ 合 鴨 、 う ず ら ）	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量 農業所得・営業利益	羽/年（出荷羽数） 円（農業所得・営業利益）	円/羽（販売価格）※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量 農業所得・営業利益	羽/年（出荷羽数） 円（農業所得・営業利益）	円/羽（販売価格）※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量 農業所得・営業利益	羽/年（出荷羽数） 円（農業所得・営業利益）	円/羽（販売価格）※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 事故率の低減による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量 農業所得・営業利益	羽/年（出荷羽数） 円（農業所得・営業利益）	円/羽（販売価格）※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 堆肥販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売量（堆肥） 農業所得・営業利益	t/年（年間販売量） 円（農業所得・営業利益）	円/t（販売単価）※参加申請時に根拠資料を提出	円	円																		○	○
	6 6次化による加工品の販売量・販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品） 農業所得・営業利益	円/年（年間販売額） 円（農業所得・営業利益）		円	円						○													○
	7 育成率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量 農業所得・営業利益	羽/年（出荷羽数） 円（農業所得・営業利益）	円/羽（販売価格）※参加申請時に根拠資料を提出	円	円	○	○	○	○			○											○	
	8 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	円	円	○		○																○
	9 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	円	円	○		○																○
	10 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	円	円			○																○
	11 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	円	円																		○	○
	12 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）		円	円		○	○								○								○
	13 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）		円	円			○																○
	14 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）		円	円				○															○
	15 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）	円	円														○					○
	16 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	円	円														○					○
	17 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）		円	円			○														○		○
	18 新規就農	※1					円	円	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和5年度 導入の必要性和成果目標、補助対象機械装置一覧（ピンク色のセルは、令和4年度要望調査から変更のあった個所です）

飼養 区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値）					○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧（令和5年1月19日現在：未定稿）」を参照してください																				
			算定根拠	現状値・目標値の ①の値の単位	現状値・目標値の ②の値の単位	現状値・目標値 の③の値の単位	現状値 目標値 の単位	1 飼料給与 関係機械 装置	2 畜舎温度 制御機械 装置	3 省エネ・電 力安定供 給のための 機械装置	4 家畜飼養 管理機械 装置	5 搾乳関係 機械装置	6 衛生管理 高度化機 械装置	7 畜産物管 理・加工機 械装置	8 飼料播種・ 追播用機 械装置	9 飼料収穫・ 調製用機 械装置	10 その他飼料 生産関係 機械装置	11 スマート農 業関連機 械装置	12 草地等管 理用機械 装置	13 飼料調製 用機械装 置	14 飼料用米 調製用機 械装置	15 放牧関連 機械装置	16 飼料保管 装置	17 エコフイード 調製・給与 関係装置	18 堆肥調製 散布関係 機械装置	19 その他 （知事特 認関係）		
飼 料 受 託 等	1 飼料生産受託面積・飼料生産作業面積の拡大	販売額の5%増	自給飼料販売量（自給飼料）	kg/年（販売量）	円/kg（販売単価）		円								○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	
		受託料収入の5%増	受託料（飼料生産）	円/年（受託料）			円									○	○	○								○	○	
		生産コストの5%減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円									○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
		自給飼料収穫量の5%増	自給飼料収穫量	t/年（収穫量）			t									○	○	○	○	○	○		○		○	○		
	2 TMR生産量の増加	販売額の5%増	TMR販売数量	kg/年（販売量）	円/kg（販売単価）		円													○	○		○		○		○	○
		営業利益の5%の増加	営業利益	円（営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円													○	○		○		○		○	○
		生産コストの5%減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円													○	○		○		○		○	○
		自給飼料利用量の5%増	自給飼料利用量	t/年（利用量）			t													○	○		○		○		○	○

※1 導入の必要性が「新規就農」の場合

- 導入の必要性が「新規就農」の場合、成果目標は他の導入の必要性で示されている「成果目標」「算定根拠」から設定したいものを選択してください
- 新規就農を選択した場合、「現状値」には「0」が自動的に入力され、「増加（削減）率」欄には自動的に「皆増」が入力されます